

## びわコミ 会議への 参加方法

### 事前申し込みが必要です！

※ブース展示の出展申込時にお名前を記載していただいた方、午後の座談会の進行役等としてお名前を登録していただいている方は、参加申込は不要です。  
下記の参加申込書の内容を、**8月20日(火)**までに、**FAX・E-MAIL・電話**のいずれかの方法で事務局あてにお申込みください。複数でのお申込みの場合は、全ての参加希望者の所属・連絡先等が分かるようにして別紙等(様式任意)でお申込みください。**定員(200名)に**なり次第、先着順で締切させていただきますので、**お申込みはお早めにお願いいたします。**

マザーレイクフォーラムびわコミ会議  
2019/8/31 第1部 & 第2部

## 参加申込書

FAX または E-MAIL または 電話

フリガナ 氏名		
所属		
連絡先	(電話)	—
	(E-mail)	@
住所 (市町まで)	府・県	市・町

※記入された個人情報は、マザーレイクフォーラムに関する業務のみで使用し、それ以外の目的では使用しません。

## ブース 展示の 出展方法

### 出展申込用紙をダウンロード&提出してください。

びわコミ会議会場にて、ご自身の活動をPRする「ブース展示」を希望される団体は、びわコミ会議の公式Webサイト(<http://mlf.shiga.jp/biwacomii>)にて「ブース等出展申込用紙」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、**8月8日(木)**までに、**FAX・E-MAIL・電話**のいずれかの方法で事務局あてにお申込みください。**定員(約25ブース)**が埋まり次第、先着順で締切させていただきますので、**お申込みはお早めにお願いいたします。**

※申込用紙のダウンロードが難しい場合は事務局までご相談ください。

## 会場への アクセス

### コラボしが21

滋賀県大津市打出浜2番1号  
(びわ湖ホール向かい)

3階  
大会議室  
中会議室



- JR琵琶湖線「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分
- 会場の駐車場は使用できません。**  
お車でお越しの場合は「びわ湖ホール駐車場」など、近隣の有料駐車場をご利用ください。

## 申込み 問合せ

マザーレイクフォーラム運営委員会 事務局 (公財)淡海環境保全財団内 川端 宛  
〒525-0066 草津市矢橋町字帰帆2108 淡海環境プラザ2階  
TEL: 077-569-5301 FAX: 077-569-5304 Email: [mlf@ohmi.or.jp](mailto:mlf@ohmi.or.jp)

### みんなの 情報交流サイト「マザーレイクフォーラム」

今すぐ**メンバー登録**して、情報収集や情報発信におおいにご活用ください!!

マザーレイクフォーラム

検索

<http://mlf.shiga.jp>

最新の情報は  
facebookページで!!



SUSTAINABLE GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

# 第9回 マザーレイクフォーラム びわコミ会議

2019年8月31日(土)  
10:00 ~ 16:30

参加無料

コラボしが21 (びわ湖ホール向かい)  
定員 200人 (申込み先着順) ▶ 参加申込方法は裏面

【開催テーマ】

## びわ湖のこれまで、2019 そしてこれから

▶ 詳しくは中面を参照

### 「びわ湖」について考え、語り合う 年に1度の大集会！

【第1部】みんなつながる報告会 10:00 ~ 12:00

- ★“びわ湖” ~指標で見るびわ湖の変遷とトレンド「びわ湖なう！」~
- ★“野洲川” ~野洲川をめぐる多様な主体のつながり・かかわりを育む~
- ★“沖島” ~びわ湖唯一の有人離島の振興プロジェクト最前線！~
- ★“観光” ~ローカルな地域資源とインバウンドツーリストをつなぐ~
- ★“漁業” ~漁業の六次産業化：接客する漁師へ！~
- ★寄付金贈呈式と寄付金活用報告

【第2部】びわ湖のこれまで、話さへん？ (座談会) 13:15 ~ 16:30

(話し合いテーマ例) マザーレイク21計画／野洲川／沖島／天井川／インバウンド／釣り人／企業／びわ湖の魅力／  
びわ湖の豊かさ／びわ湖への思いの距離感／外来生物／水草／やまと健康／水源の森 など

【ブース展示】さまざまな活動、さまざまな人、つながれ！ 10:00 ~ 16:30 ▶ 出展申込方法は裏面

【主催】マザーレイクフォーラム運営委員会／滋賀県

2045  
2044  
2043  
2042  
2041  
2040  
2039  
2038  
2037  
2036  
2035  
2034  
2033  
2032  
2031  
2030  
2029  
2028  
2027  
2026  
2025  
2024  
2023  
2022  
2021  
2020  
2019  
2018  
2017  
2016  
2015  
2014  
2013  
2012  
2011  
2010  
2009  
2008  
2007  
2006  
2005  
2004  
2003  
2002  
2001  
2000  
1999  
1998  
1997  
1996  
1995

びわ湖をよなく愛し、  
「ミスターびわ湖・勇さん」の愛称で親しまれています。

びわコミ会議ナビゲーター  
マザーレイクフォーラム広報大使  
川本 勇さん

ミュージシャン、プロ  
デューサー、(株)ユース  
トン代表取締役。  
びわ湖をよなく愛し、  
「ミスターびわ湖・勇さ  
ん」の愛称で親しまれ  
ています。

# MOTHER LAKE TIMES

マザーレイク・タイムズ  
2019年7月号

これから先、私たちはびわ湖にどう向き合い、守り、支えていけばよいのでしょうか。次的新たな形を模索していかなければなりません。

## 今年の「びわコミ会議」 特徴・みどころは？



びわコミ会議のひとコマ

### あらためて、そもそも 「びわコミ会議」とは？

8月31日（土）に大津で開催される、第9回マザーレイクフォーラムびわコミ会議。

びわ湖が好きな人、びわ湖流域をまもる活動に関わっている人、関わりたい人が、県内外から世代を越えて毎年約2百人も集まり、お互いの取り組みや思いを共有したり、びわ湖の将来のために立場を超えて楽しく話し合う、恒例のイベントです。

びわコミ会議の「びわ」は「びわ湖」を、「コミ」は「コミュニケーション（対話）」「コミットメント（約束）」の3つの意味を表しています。

びわコミ会議を主催している「マザーレイクフォーラム運営委員会」は、漁師・農家・企業・NPO・研究者・県職員などで構成されていて、より多くの皆さんのがびわ湖をまもる活動やびわ湖につながる暮らしづくりに主体的に関われるよう、びわコミ会議の企画運営のほか、人・思い・事業をつなぐさまざまな取組をしています。



2050年頃のびわ湖のあるべき姿のイメージ  
(マザーレイク21計画 第2期改定版より)



（※参加には申込が必要です。  
方法は裏面をご覧ください。）

年間の「びわコミ会議」にご参加ください！

では、「マザーレイク21計画」にもとづく過去20年間の取り組み経過やびわ湖の変化の様子などを、データとともに詳しく解説される予定です。

「びわ湖なう！」の「ナーナー」としてこれまで、「びわコミ会議」の開催テーマは、「びわ湖のこれまで、そしてこれから」。

びわ湖流域の総合保全をめざして2000年に滋賀県が策定した「マザーレイク21計画」の計画期間が来年度で終了するところ、これまで私たちがどのようにびわ湖流域と関わってきたかを改めて振り返ったり、びわ湖の「これから」についてさまざまな側面から考えを分かち合える機会になれば、と考え、このテーマを掲げました。

「マザーレイク21計画」策定からもうすぐ20年。  
過去に学び、未来を語る、  
そしてこれから。

### 「報告会」「座談会」「ブース展示」の3部構成

また、異分野の人同士が立場を越えて思いを伝え合ったり、連携を深められるのも、びわコミ会議の醍醐味です。

びわコミ会議は、4組の個性的な団体による事例報告・県の「びわ湖なう！」・寄付金受領式と活用報告からなる「みんなつながる報告会」、約15のテーマ別小グループに別れての「びわ湖のこれから、話さへん？」(座談会)と、約25の活動団体による「ブース展示」の3部構成になっています。

## ポスト「マザーレイク21計画」に向け、開かれた場づくりを! 「びわ湖の未来と一緒に考える仲間、大募集」大津&長浜で開催

### 市民主体の計画づくり

およそ10年前、「マザーレイク21計画」第2期計画の策定にあたっては、多くの市民や研究者が集まり、ワークショップや話し合いを何度も積み上げることで、現場の思いや県民の暮らしの目線に立った計画が作られました。さらに、その進行プロセスにも市民が主体的に参画しやすくなるよう、びわコミ会議の場をはじめ、さまざまな试行錯誤がされてきました。これは、「びわ湖」を囲んでひとつにまとったとき、それが、2020年度で終了します。



「びわ湖の未来と一緒に考える仲間、大募集！」(3/24@大津)

### 「びわ湖の未来」に共に 向き合える仲間を求めて

このため、まずは次の10年、20年を私たち「マザーレイクフォーラム運営委員会」と一緒に歩んでくださる「仲間」を集めをしよう、といつことになり、今年3月に大津で、5月に長浜で、「びわ湖の未来と一緒に考える仲間、大募集！」と題したキックオフ・カフェ・ミーティングを開催しました。



「びわ湖の未来と一緒に考える仲間、大募集！」(5/12@長浜)

### 「びわ湖をまもる」につながる マザーレイクギフトを贈ろう! ～母の日・父の日・びわ湖の日プロジェクト2年目～

<https://thanks-motherlake.jp/>



2年目の今年は、びわ湖愛あふれる米粉のおやつや、魚のゆりかご水田から生まれたお酒などをフィーチャーして、取材レポートを動画・ブログ・SNS等で発信。もちろん、貢う・贈る。もらうことを通じて気軽に応援してもらえるように、昨年度から始まった「母の日・父の日・びわ湖の日プロジェクト」。



母の日ギフト 動画



母の日ギフト ブログ記事

ギフトセットをオーダーメイドでプロデュースする「記念日ギフトプロジェクト」も始動。第一弾として、結婚式の引出物のご依頼をいただき、水源の森の雑木を使った箸やスプーンを依頼者にも手伝つてもらって手作りしてもらうなど、たいへんご好評いただきました。

告知期間が短かつたにも関わらず、各会場とも20名以上の多彩な分野の方々が参加してください、びわ湖談議で大いに盛り上がり、今後へ向けての大きな弾みとなりました。

今後も、このようなミーティングをしながら、「びわ湖の未来と一緒に考える仲間」の輪を広げていきたいと思いますので、皆さんもぜひひより参加ください。